

青少年相談員会報

令和4年9月15日発行

第94号

さ き が け

発行 水戸市青少年相談員連絡協議会(事務局 水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課 ☎029-306-8692)



姉妹都市親善友好交歓研修 敦賀市から来た研修生の様子(弘道館記前)

コロナ禍における青少年活動

水戸市教育委員会事務局

教育部長 三宅 修



青少年相談員の皆様方には、青少年の健全育成のため、街頭補導活動をはじめ、社会環境の向上に御尽力いただいておりますこと、

心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスへの対応が長期に及んでいる中、青少年にとって、その時期に十分行うべき体験的な活動や人との関わりが減少していることが、大きな課題となっております。

そのため、本年度は特に、中学3年生が入学時から臨時休業等様々な活動が制限されてきたことから、中学校生活で最大の思い出となる修学旅行を何としても実施させたいと、旅行前の感染予防対策、旅行中に感染した場合の対策など万全の準備をし、3年ぶりに関西方面への修学旅行を全校で実施することができました。見送りに行った際の生徒たちの笑顔にとっても嬉しくなりました。

街頭補導の指導状況を見ると、コロナ前の平成30年度から昨年度は4割弱に減っています。これは、感染防止のため活動が制限されたり、青少年が人混みに出なくなるなどの影響と思われるが、コロナ禍にあつてより一層大切なのは、青少年相談員の皆様をはじめ、青少年を温かく見守る大人たちの姿勢ではないかと思えます。今後とも、青少年との対面でのふれあいを大切にしたい御活動をよろしく願っています。

令和4年度定期総会

5/22(日)

令和4年度の定期総会は、コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、3年ぶりに水戸市役所において対面で開催し、71名の相談員が出席しました。

当日は青少年相談員連絡協議会の白田茂司会長の挨拶に続いて、水戸市教育長志田晴美様よりご挨拶をいただきました。

議事では事業報告・決算報告、事業計画、予算案が滞りなく審議され、御承認いただきました。

(齊藤)



【事業計画】

実施時期	事業名
5月	定期総会
	第1回役員会
7月	第2回役員会
	各地区情報交換会及び研修会(市共催事業)
9月	第3回役員会
	会報「さがけ」94号発行
11月	青少年相談員視察研修(市共催事業)
	第4回役員会
1月	第5回役員会
2月	青少年相談員実務研修会(市共催事業)
	各地区情報交換会及び研修会(市共催事業)
3月	会報「さがけ」95号発行
	第6回役員会

「ボランティア相談 団体連絡協議会」 に参加して

白田 茂司

令和4年5月27日水戸市役所にて行政懇談会が開催されました。

- ① 行政相談員
- ② 青少年相談員
- ③ 民生委員児童委員
- ④ 人権擁護委員
- ⑤ 保護司会
- ⑥ 水戸市からは高橋市長はじめ各担当部署職員

総勢22名の参加者で初めての情報交換会でした。

以前に青少年相談員をされていた草柳さんの声掛けにより各相談団体の活動方針・活動内容を紹介し各団体間の理解を深め、今後の活動において円滑に連携等を行うようになることを目的とした会合でした。各団体の活動内容等についてはHP等を参照して頂きたいと存じます。これからも青少年相談員の活動内容等の情報発信が出来ればと感じました。



「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動 ヤング街頭キャンペーン

6/25(土)

新型コロナウイルス感染症の影響で、人と会う事を避け、一人で過ごす時間が増えました。寂しさを紛らわすため、薬物に手を出してしまう人が急激に増えているそうです。また、住宅街の一軒家やマンションの一室など、私たちの身近な場所で大麻が栽培され、その摘発が相次いでいます。

水戸市青少年相談員をはじめ17団体72名が、薬物乱用撲滅を目指し、水戸駅北口と南口ペDESTロアンデッキで、啓発品を配布しながら、「薬物はダメなんです。ゼッタイに!!」と訴えました。(小塚)



令和4年度

地区定例会及び研修会

一中・赤塚中・内原中地区

飯村 かほる

7月7日、水戸市福祉ボランティア会館にて地区情報交換会及び研修会を開催いたしました。26名の方にご参加いただきました。

まず新任研修会としてDVDを視聴し、次に地区ごとに補導の状



況を発表してもらいました。日没が早まる秋から冬には開始の時間を繰り上げてよいのではないかといい声が上がりました。

意見交換では、この日起きた仙台の中学生が面識のない男に包丁で切りつけられる事件が話題となりました。とっさの時に大声で助けを呼ぶのは難しい。中学生も防犯ブザーを携帯し、いざという時に備えた方がよいのではないかといい意見がありました。

二中地区

池田 清美

7月14日、第1回二中地区情報交換会及び研修会を、15名の参加者を迎え、新築移転をした千波市民センターにて開催しました。

初めに新任研修としてDVDで補導時の声かけの例を視聴しました。実際の補導の様子の良い例、悪い例が挙げられていて、初心にかえる思いで勉強になりました。次の情報交換でも、声かけの難



しさについて感想が多く出されました。また、私たちは青少年相談員なのだから、注意をするだけではなく、相談相手になれるような機会を作ってはどうか、との意見も出され、今後の課題としていきたいと考えています。

三中・常澄中地区

福田 清江

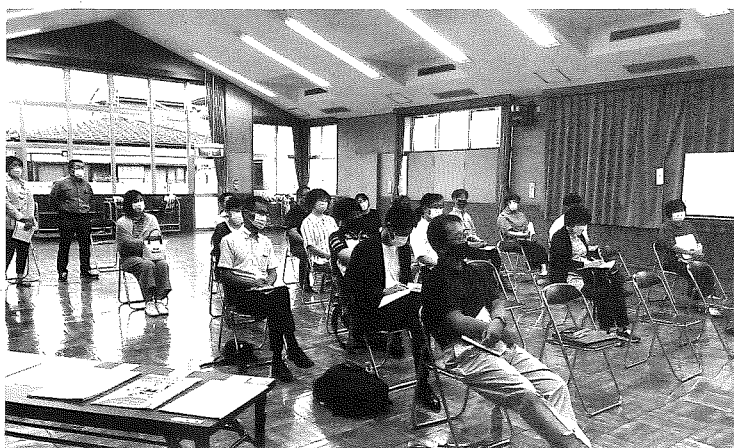
7月22日、城東市民センターに於いて25名の参加をいただき令和

4年度合同の地区定例会及び研修会を開催しました。

新任研修会では、青少年相談員の心構えに関するDVDを全員で視聴し、相談員としての認識を新たにしました。

情報交換では、参加者全員の自己紹介の後、先生方から子どもたちの現状が話され活発な意見交換が行われました。

合同定例会で情報交換等を通じて地区の特性や問題点を考え、今後の相談員活動に活かしていきたいです。



相談員になって想う事



青少年相談員を

ご存知ですか？

赤塚中地区 菊池 清志

水戸市に青少年相談員は191人います。

そして、水戸市の青少年相談員は、月1回の街頭補導や年5回の地区補導、その他少年の健全育成等に関する条例や関係法令などの普及啓発活動など、青少年の健全育成と非行防止を推進するための活動を、昭和45年の設立以来ずっと続けています。

街頭補導とは、青少年相談員を15班に分けて、午前・午後・夜間に水戸駅周辺の街頭で青少年へ声かけや相談などを行う活動です。地区補導とは、各中学校区で青少年へ声かけや相談などを行う活動です。また、青少年の健全育成のため「青少年の健全育成に協力する店」の登録店舗を増やす活動も行っています。

今、水戸市における青少年の問題行動は激減していますが、これも、こうした青少年相談員や関係諸団体の地道な活動の成果と実感

しています。

青少年相談員に

できること

一中地区 三宅 秀一

地区の先輩方が受けられてきた青少年相談員というボランティアを自分が引き受けるにあたり、一体何ができるのかという不安がありました。地区の子どもたちは



地区で育てるといふ思いと、我が子たちが地区の皆さんから受けてきたご恩を返す機会でもあるこの活動に賛同し、地区補導に参加させていただいています。最初は自分もよく知っている地区の探検のつもりでしたが、補導を始めてみ

ると意外にも普段は何でもない場所が時として危険な箇所になるのだということを知り、子どもたちをどう守っていくのかを考える良い機会になりました。微力ではありますが今後この活動を続けて行ければと思います。

青少年相談員になって

思うこと

寺田 尚子

新米相談員として二年目を迎えました。私の勤務する高校では、生徒は茨城県内の様々な市町村から通学をします。これまで、あまり、水戸市とのつながりを意識することはありませんでした。街頭補導に参加させていただくようになって、生徒たちが、色々な場面で、温かな眼差しで見守られていることを実感しています。

また、水戸駅周辺の商業施設などで、先輩指導員の方がさりげない言葉で高校生に声掛けをされる様子から、多くのことを学ばせてもらっています。多岐にわたる分野で経験を積まれた方たちが、青少年相談員として長年尽力されていることも知り、この素晴らしい取り組みに参加させていただけれることを有難く思っています。

事務局職員紹介

事務局職員について、令和4年度は次のとおりです。

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課

課長	湯澤 康一
課長補佐	島田 顕範
青少年育成係長	上木 吉一
担当	小野瀬 永子

〒310-8610 水戸市中央1-4-1

水戸市役所 3階

電話：029-306-8692 (直通)

FAX：029-306-8693

Eメール：seisyounen@city.mito.lg.jp

編集後記



今年の夏こそはと思っていた矢先の第7波。やっぱり外せないマスク。制限は少しずつ緩和されてはいるがこの生活はいつまで続くのか。

人とのふれあいが少なくなる事で、子どもたちのコミュニケーション能力や相手の気持ちを推し量る力、思いやりの心に影響してないだろうか。キャッシュレスは便利だが、金銭感覚は大丈夫か。

とにかく一日も早く、マスクを外して笑顔で語り合える日が来ることを願うばかりだ。(竹林)